

5/24 朝日

維新公約に「9条改正」

保守色強調 「全国政党」狙う

日本維新の会が夏の参院選

で打ち出す公約の原案がわかった。防衛費増額などの安全保障政策や、自衛隊を憲法に明記する9条改正などを前面に掲げる。国家観が強調される内容で、地盤の大坂から脱却し、本格意図がにじんでいる。

原案の柱は、国金改革▽統治機構改革▽安全保障▽経済対策▽憲法改正など8

項目で構成される。

安全保障では、「積極防衛能力」の構築に向けて防衛費の対国内総生産(GDP)比2%への増額に言及。憲法改正では、「国防を担う組織」に自衛隊を

置づけるために憲法9条を改正し、他国による武力攻撃などに備える「緊急事態

も言及。「核共有を含む拡大抑止に関する議論を開始する」としている。一方で、地盤の大坂に触れるのは、統治機構改革のなかで「首都機能のバックアップを担う拠点へ」とする程度だ。これまで維新は、議員定数削減や新型コロナウイルス対策といった大阪で実績を積んだ政策と絡めた公約をアピールして選挙戦を開催してきた。

今回の公約のねらいについて、維新幹部は「自民党や立憲民主党が二の足を踏むような政策を掲げ、野党第1党に向けて存在感を示す」と説明する。岸田政権下で迎える参院選は、安保政策や憲法改正などに踏み込んで保守色を強めてみせる」としていいる。

一方で、地盤の大坂に触れるのは、統治機構改革のなかで「首都機能のバックアップを担う拠点へ」とする程度だ。これまで維新は、議員定数削減や新型コロナウイルス対策といった大阪で実績を積んだ政策と絡めた公約をアピールして選挙戦を開催してきた。

維新は、「政権獲得への意思を明確に持った野党第1党」を目標に掲げる。次期衆院選もにらみつつ、まずは参院選を足がかりとしていた意向だ。（小手川太朗）